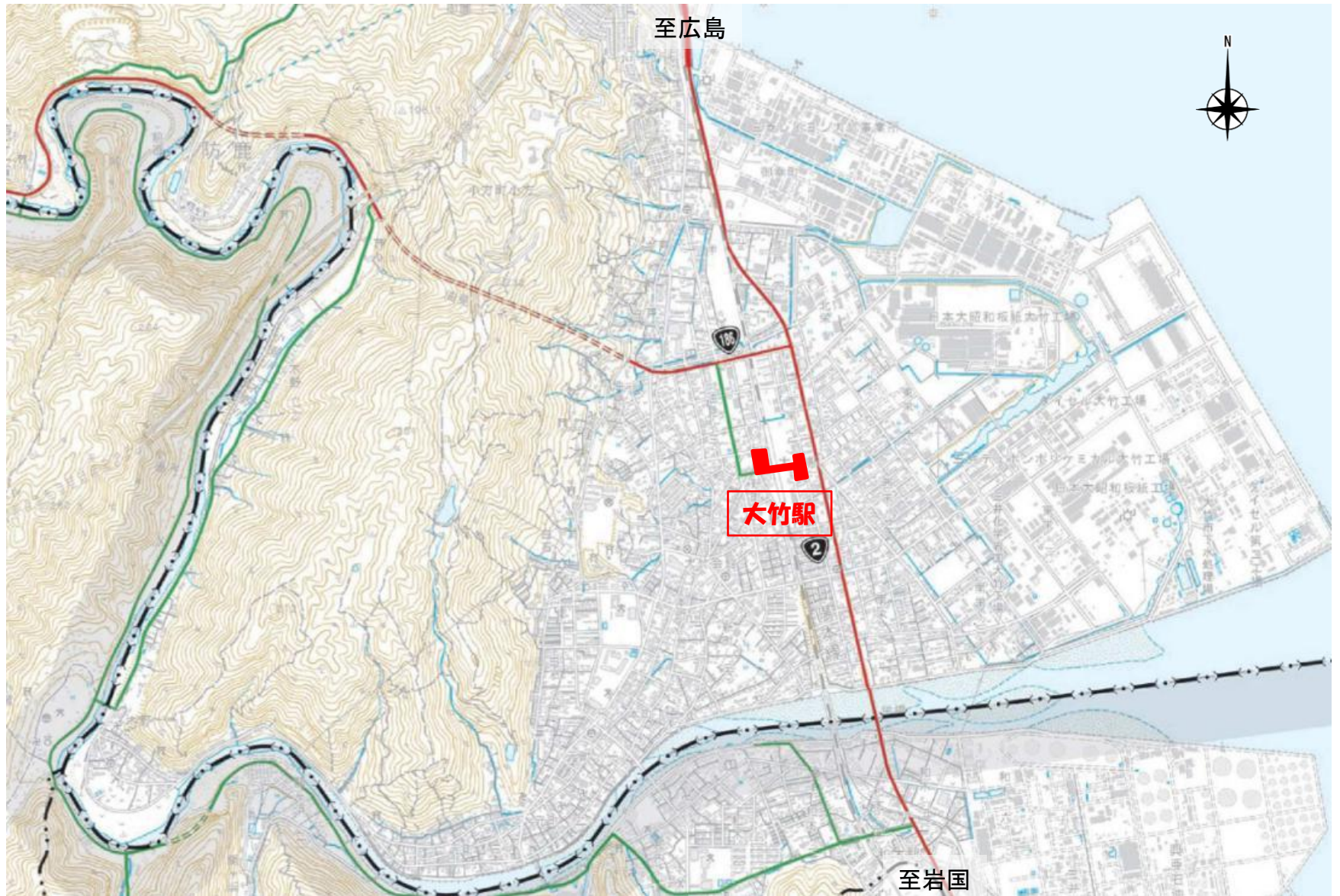


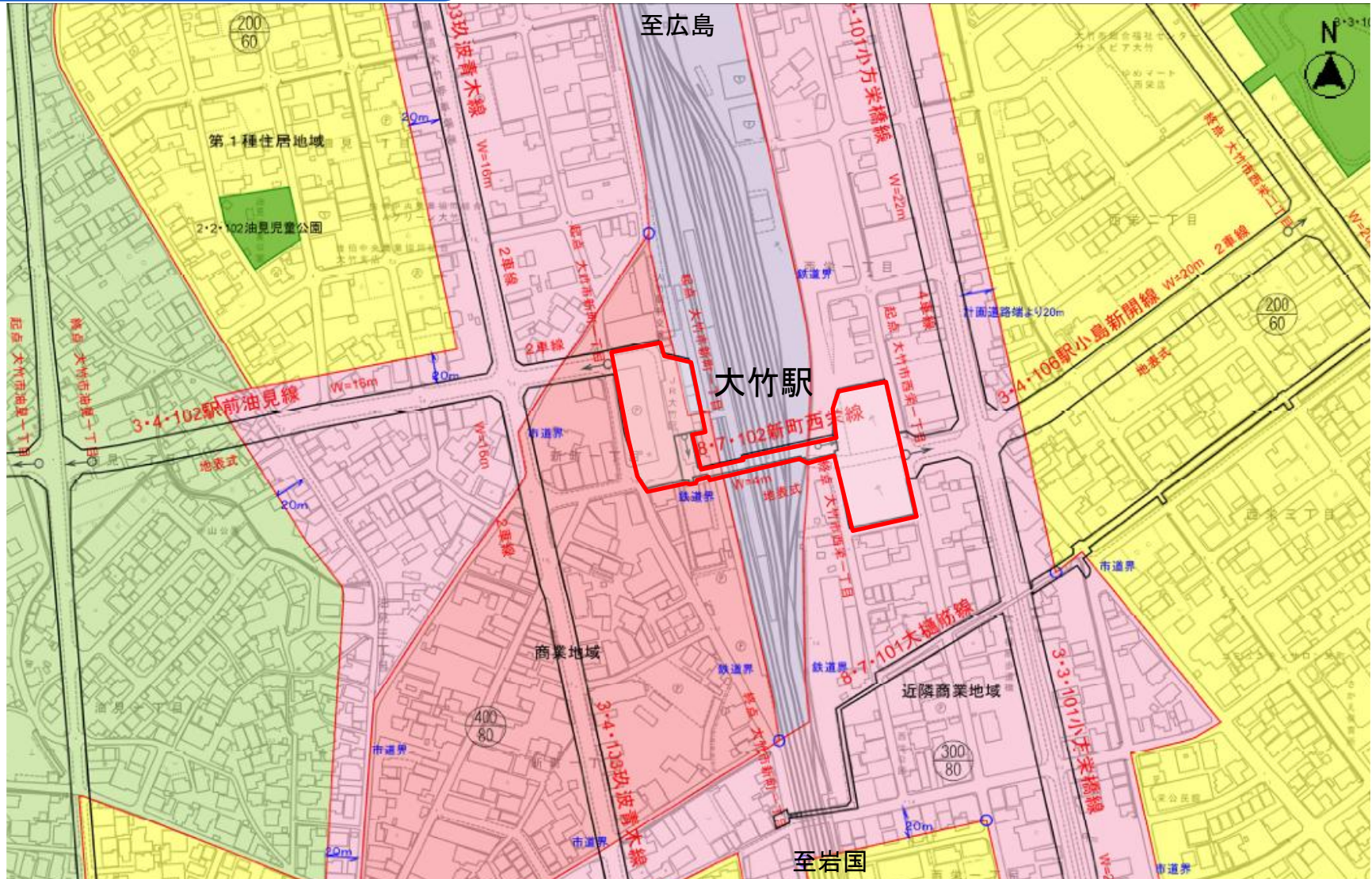
**事業概要**

応募No.	15		
事業主体	大竹市	事業箇所	広島県大竹市新町一丁目及び西栄一丁目地内
応募者名	大竹市建設部都市計画課		
ふりがな 事業名称	ひろしまけんとしけいかくどうろじぎょう おおたけえきしゅうへんせいびじぎょう <b>広島圏都市計画道路事業(大竹駅周辺整備事業)</b> しんまちにしさかえせん えきまえゆうみせん えきこしましんかいせん <b>8・7・102号新町西栄線 3・4・102号駅前油見線 3・4・106号駅小島新開線</b>		
事業概要 (400字以内)	本事業は、広島県の最西端にある大竹駅周辺において、JR山陽本線や貨物コンテナ基地により分断された東西市街地を高架橋の自由通路で結び、駅舎の橋上化及び自由通路との一体化により東西間の歩行者交通ネットワークを形成するとともに、東西駅前広場の整備による駅へのアクセス性や利便性の向上と、交通結節機能の改善及び交流の場の創出を図ることを目的として整備を実施したものである。平成31年2月に事業認可を取得し整備に着手し、令和5年2月に自由通路が開通、令和6年1月に東口広場、令和6年10月に西口広場の一部が供用開始し、令和7年度内に全ての整備が完了する予定である。 従来、大竹駅は西側のみにしか改札口がなかったが、自由通路や東西駅前ロータリーが整備され、広島県の西の玄関口としてふさわしい、活力と魅力のある市街地の形成に大きく寄与した。		
事業規模	事業延長(km)	約0.1km 東口広場3,870m <sup>2</sup> 、西口広場4,300m <sup>2</sup>	
	幅員(m)	約4.0m(自由通路)	
	事業期間(和暦)	平成31年～令和7年	
	事業費(億円)	約46億円	
受賞歴	①・無		
URL	<a href="https://www.city.otake.hiroshimajp/soshiki/kensetsu/toshikeikaku/gyomu/3/otakeeki/1554459701438.html">https://www.city.otake.hiroshimajp/soshiki/kensetsu/toshikeikaku/gyomu/3/otakeeki/1554459701438.html</a>		

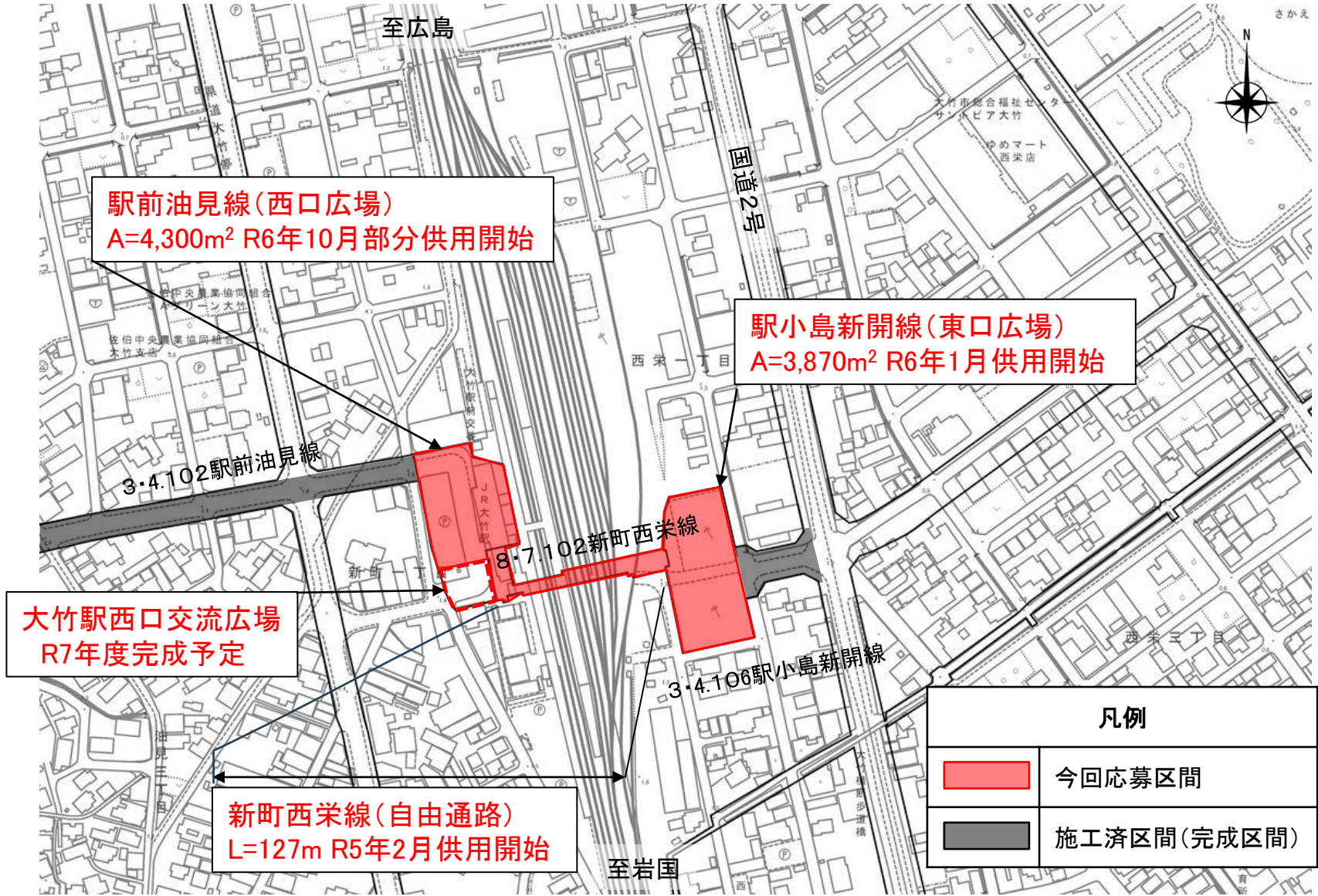
事業位置図



都市計画図(用途地域図)

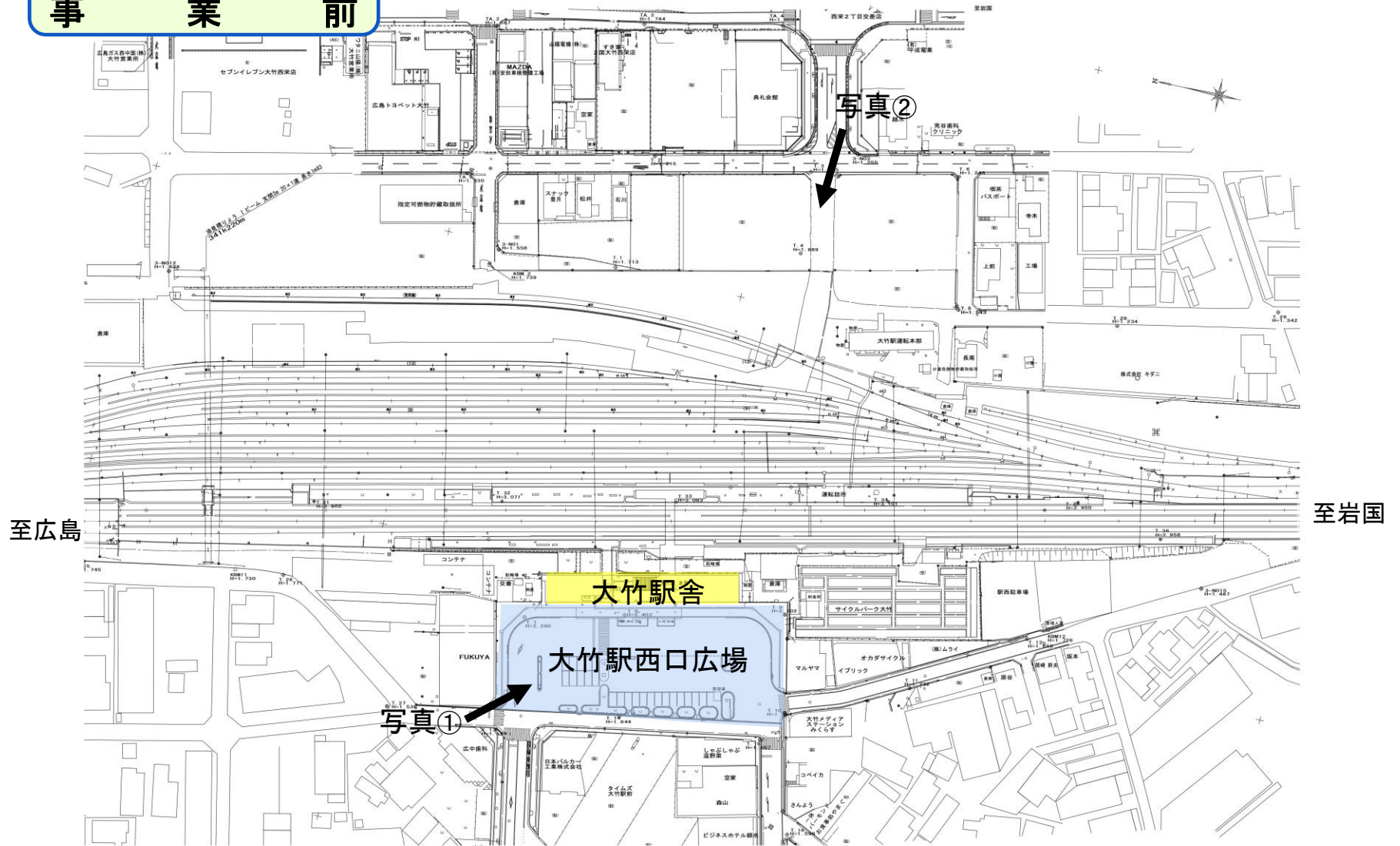


路線全体の進捗状況



平面図

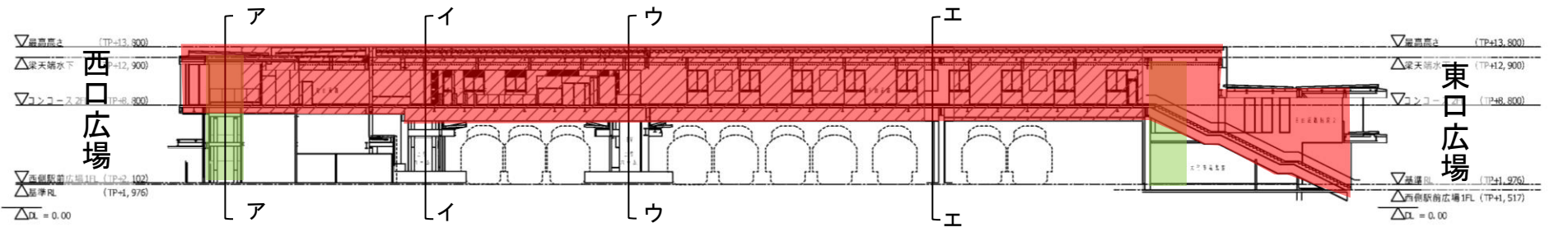
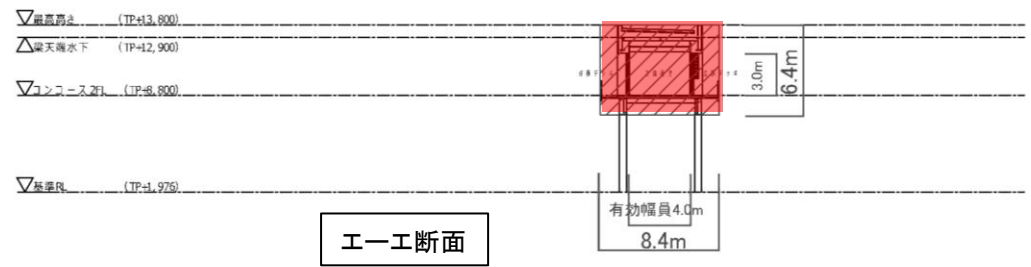
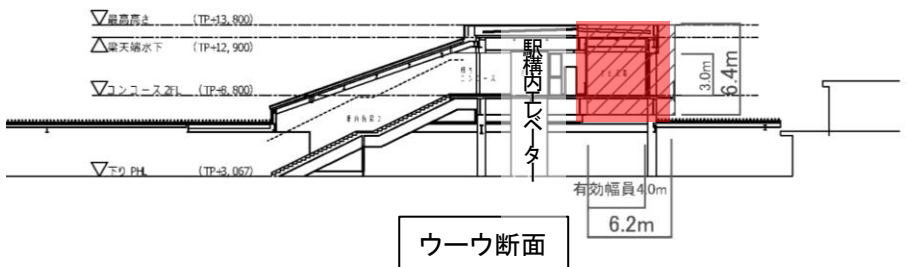
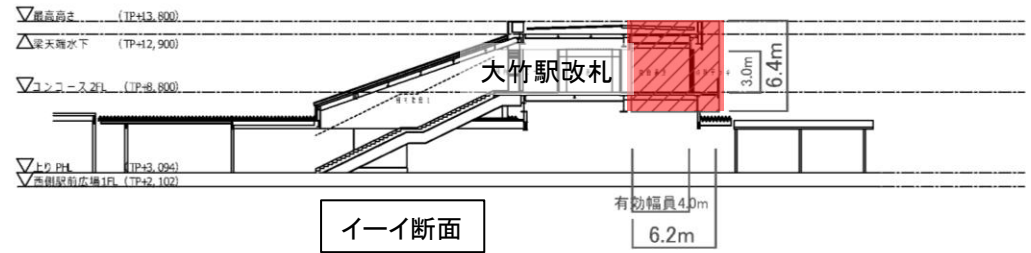
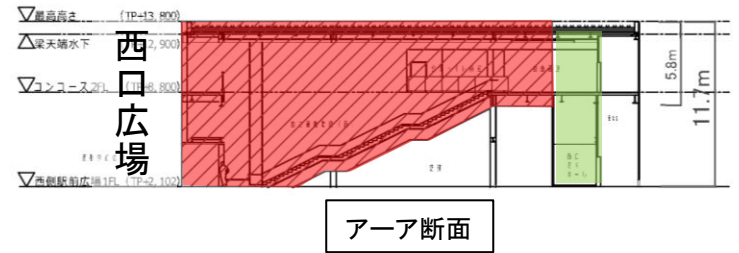
事業前





縦断図・横断図

事業後



自由通路      エレベーター

# 事業前写真



# 事業後写真



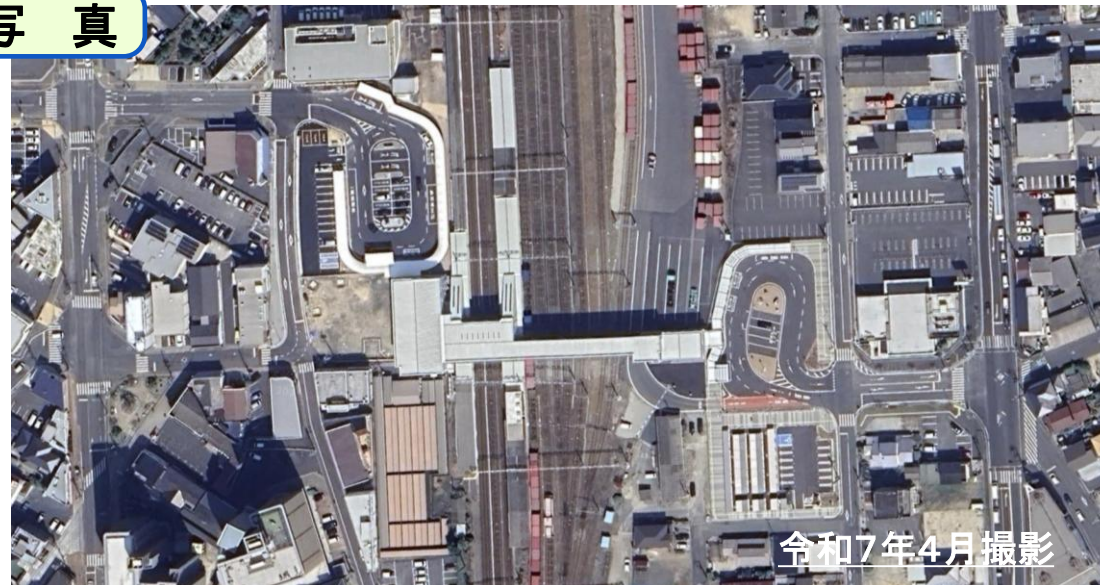
大竹市：大竹駅周辺整備



事業前写真

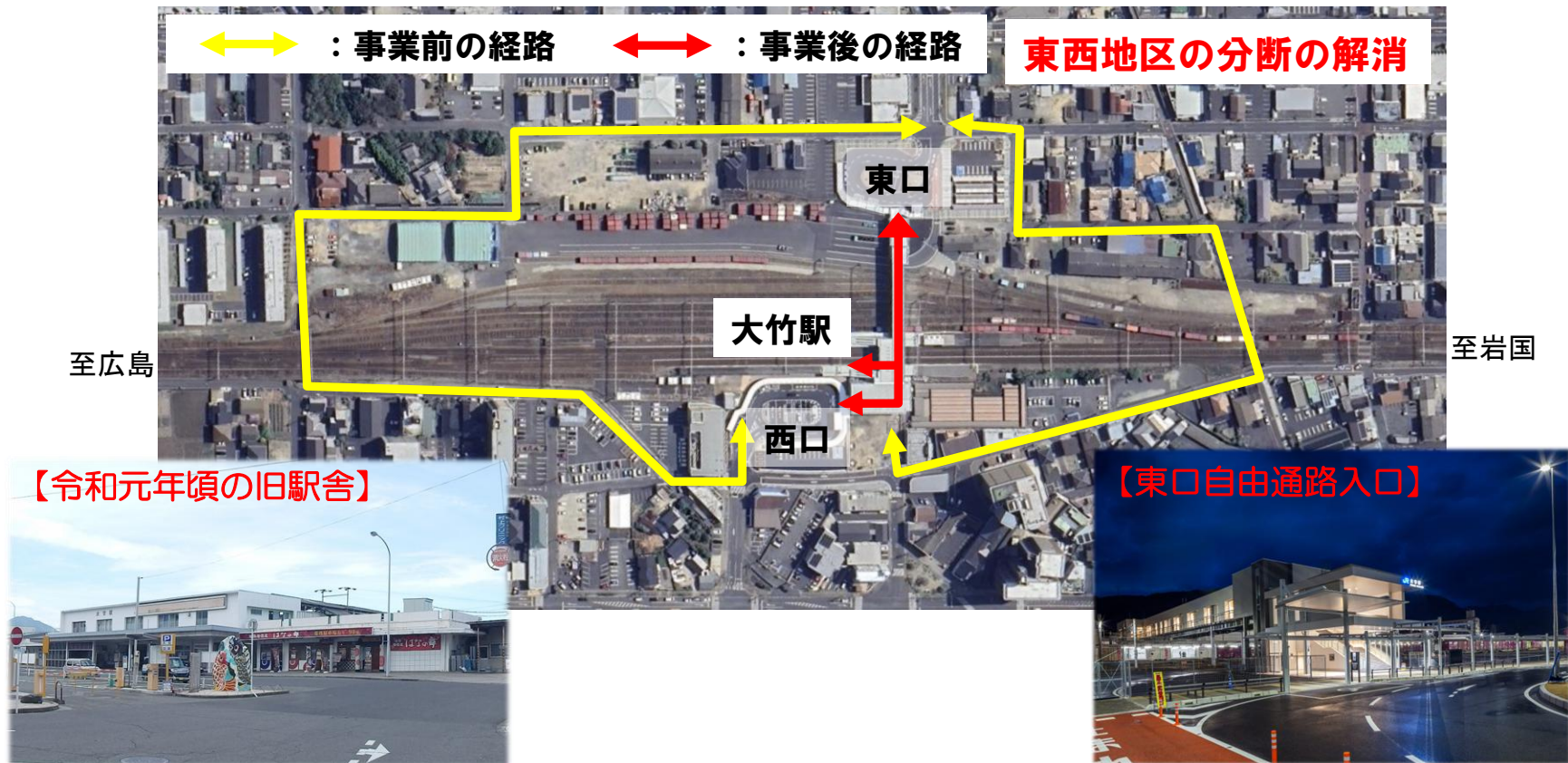


事業後写真



## 事業効果アピール資料

JR大竹駅は西側のみにしか改札口がなく、東側市街地の方々がJRを利用するには大きく迂回する必要があった。また、大竹駅東側は臨海工場地帯であり、駅を利用する工場従事者の方々にとっても不便が生じていた。自由通路の供用などにより駅周辺の交通利便性が大きく向上した。



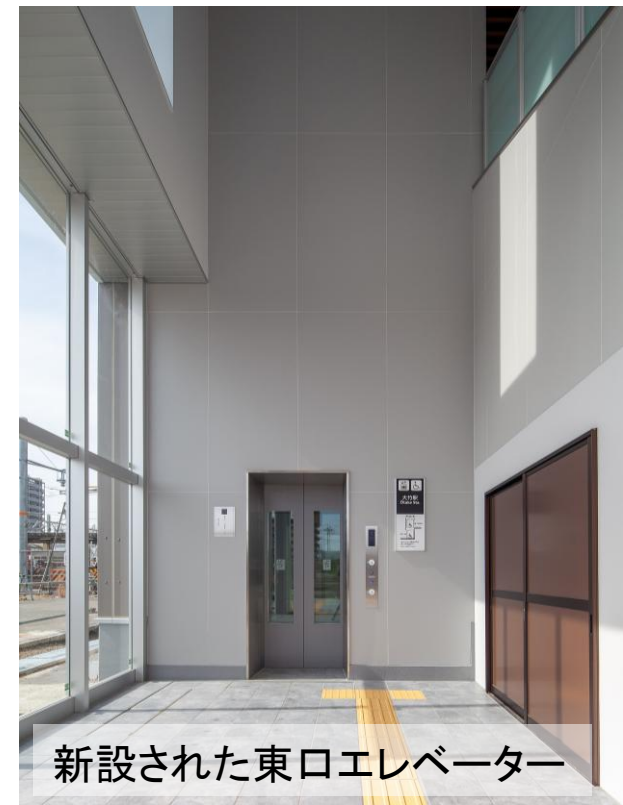
## 事業効果アピール資料

JR大竹駅はバリアフリー化されておらず、駅利用者は、上りホーム・下ホーム間を行き来するために跨線橋の階段を利用する必要があったが、本事業によりエレベーターが設置されバリアフリー化が図られ利便性が向上した。



新設された西口エレベーター

駅を利用するご高齢の方から、外出が楽になると喜びの声をいただいた。



新設された東口エレベーター

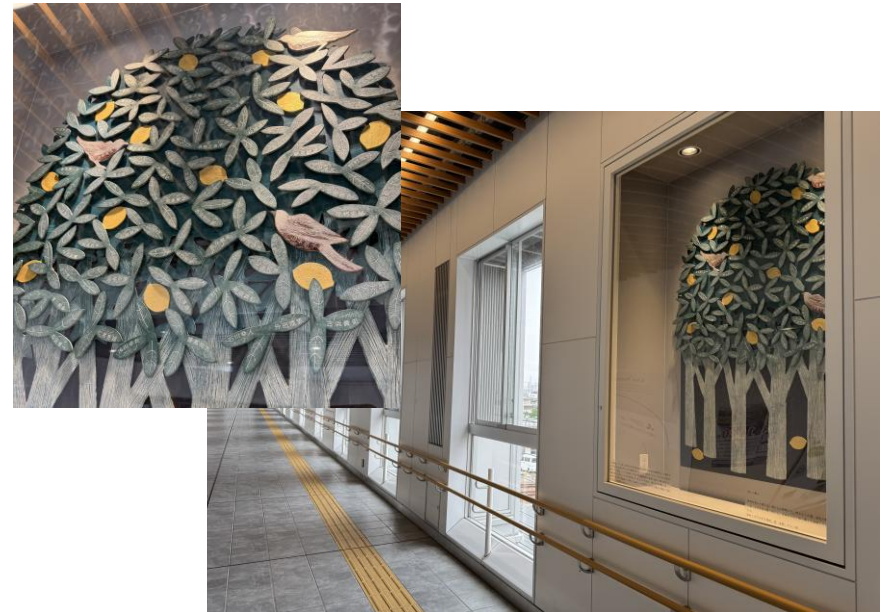
## 苦勞や工夫等アピール資料

橋上駅舎のデザイン案のアンケート募集を行い、大竹市の特産である手すき和紙の鯉のぼりをモチーフとしたデザインを採用した。

自由通路には、利用者の方々に長く愛されるように、クラウドファンディングを募り寄付者の名前を展示物のデザインに刻む取り組みを行った。



鯉のぼりをモチーフとしたデザインの駅舎



クラウドファンディングを活用した展示物

## 苦労や工夫等アピール資料

大竹駅は旅客駅と貨物ヤードが同位置にあるため、西口と東口とを結ぶ自由通路は127mとなり沿線の旅客駅と比べ長いものとなった。また、夜間も貨物列車の往来があるため、夜間の限られた時間に確実に施工する必要があったが、BIMを取り入れ効率化を図り、予定どおり工事を完成した。

開通記念式典では、事業にあたりご協力・ご支援をいただいた地元や関係者の方々、近くの中・高等学校の生徒をお招きし、自由通路の渡り初めをして駅のリニューアルを祝った。



# 一般社団法人 鉄道建築協会 2023年度作品部門 入選

一般社団法人 鉄道建築協会

鉄道建築協会 入会・会員情報 鉄道建築協会賞 ニュース・記事 電子伝言板 (会員専用) 法人会員一覧 広告ご案内

ホーム > 鉄道建築協会賞 > 2023年度 > 入選 山陽本線 大竹駅橋上化

## 入選 山陽本線 大竹駅橋上化

作品部門 2023年度受賞

>一覧へ戻る



鉄道により東西に分断されたまちが繋がること、駅周辺が活性化されること、利便性が向上することを目的とした自由通路の新設および橋上化事業である。駅と自由通路自体もただの交通拠点ではなく、大竹市の玄関口にふさわしい賑わい・活力・魅力のある地域活動の中心となるような「地域拠点型駅舎」を目指している。

鉄道路線	JR西日本 山陽本線
建築主(事業主)	西日本旅客鉄道(株) 大塚工事業務所
設計	ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)
施工	鉄道建設(株)
構造/用途/延床積	鉄骨造 / 地下2層 / 721.78㎡
特徴的な仕上げ材	屋根: フッ素珪酸バウム鋼板(三共金属工業(株)) / 外壁: EPC/アクリル樹脂(株) / 屋上: アルミ製建具(YKK AP(株)) / 天井: アルミスピン ドレセルルーバー(保村金属(株)) / 駅北側: アイカル紙(DIC(株)) / メラミン化粧板(アイカ工業(株)) / 駅南側: 鋼製タイル(アヤマシヤ(株))
工期	2020/06～2023/02



鉄道により東西に分断されたまちが繋がること、駅周辺が活性化されること、利便性が向上することを目的とした自由通路の新設および橋上化事業である。駅と自由通路自体もただの交通拠点ではなく、大竹市の玄関口にふさわしい賑わい・活力・魅力のある地域活動の中心となるような「地域拠点型駅舎」を目指している。

受賞歴・報道資料

○新聞掲載：令和5年2月19日（日）  
中国新聞「新装大竹駅の完成祝う」